

河川21 大渡ダム(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知82	吾川村編「吾川邑史 上巻」(吾川村、1987年)、613頁	大渡ダム (中略)当ダムは吾川村にとって、就労の場があったことによるほか、特段のメリットは当初より期待はできなかったが、下流の防災、都市用水、農業用水、エネルギーの確保等、重要な課題と目的をもっており、百害あって一利なしを意中に納めつつ我が国における住民福祉、産業文化等の発展に不可欠の施策であることを理解し、大極的視野に立って、大渡ダム建設に全面的協力をしてきた。(中略)願わくば本ダムがその使命を十二分に発揮され、流域住民の安全と住民福祉、産業文化の発展向上に大いなる効果を祈念してやまない次第である。
高知85	仁淀村史編纂委員会編「仁淀村史 追補」(仁淀村、2005年)、590頁	大渡ダム (中略) 大渡ダム建設については、仁淀村としては一時的就労の場ができることのほかは、特別なメリットは期待できないものであったが、下流地域の防災、都市用水、発電用水の確保など、重要課題と目的を持っているので、大局的視野に立って全面的に協力したのである。 (中略) 大渡ダムが、今後いつまでもその使命を十二分に発揮し、流域住民の安全と福祉、また産業・文化の発展向上に大きな効果を挙げるよう祈念してやまない。
高知86	仁淀川町教育委員会編「仁淀川町のくらし」(仁淀川町教育委員会、2006年)、108頁	大渡ダム 大渡ダムは1971年(昭和46年)に工事を始め、1986年(昭和61年)に完成しました。大渡ダムは仁淀川下流域のいろいろな用水に使われ、多くの人々の生活に役立っています。